

平成22年1月27日

各 位

海 上 保 安 庁

平成21年度海洋情報部研究成果発表会の開催について

拝啓 大寒の候、皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

海上保安庁海洋情報部では、海洋における幅広い分野の調査・観測を行い、航海の安全等のために海洋情報の提供を行っており、これらにより得られた最新の成果とその調査・観測に必要な技術開発の成果を発表するため、研究成果発表会を毎年開催しています。

つきましては、「平成21年度海洋情報部研究成果発表会」を下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。なお、研究成果発表に先立ち、特別講演として、化学地質学・鉱床学並びに海底熱水活動の専門家である、東京大学大学院理学系研究科の浦辺徹郎教授に、「日本周辺の大陸棚の海底資源ポテンシャル」について講演していただく予定です。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

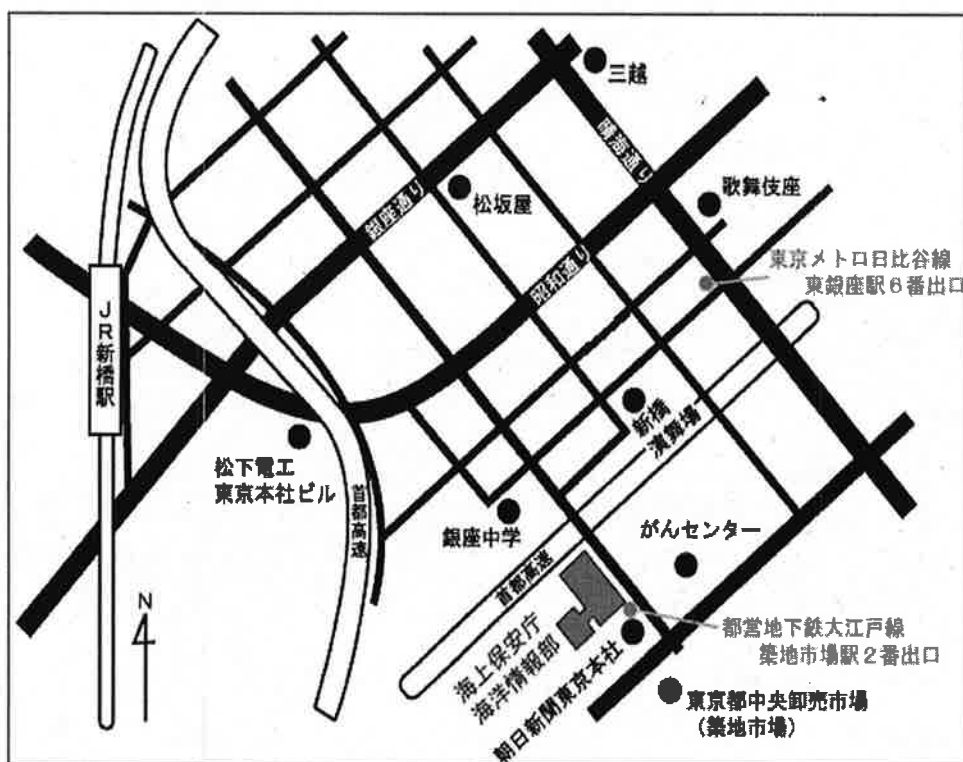
記

1. 開催日時
平成22年2月16日(火) 13:30～17:45 (12:30開場)
2. 会 場 (地図は別紙-1をご参照ください。)
海上保安庁海洋情報部7階大会議室 (東京都中央区築地5-3-1)
・都営大江戸線「築地市場」駅下車 徒歩2分
・東京メトロ日比谷線、都営浅草線「東銀座」駅下車 徒歩7分
3. プログラム
別紙-2をご参照ください。
4. 参加費等
入場無料です。事前登録の必要はありません。
5. お問合せ先
海上保安庁海洋情報部技術・国際課 (TEL:03-3541-3813)

「平成21年度海洋情報部研究成果発表会」会場

海上保安庁海洋情報部7階大会議室（東京都中央区築地5-3-1）

- ・都営大江戸線「築地市場」駅 徒歩2分
- ・東京メトロ日比谷線、都営浅草線「東銀座」駅 徒歩7分



平成 2 1 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

開催日時：平成 22 年 2 月 16 日（火） 13:30 ～ 17:45

会 場：海上保安庁海洋情報部 7 階大会議室

主 催：海上保安庁海洋情報部

参加費：無料

開会挨拶

13:30-13:35 海洋情報部長 加藤 茂

特別講演・水路新技術講演会【共催(財)日本水路協会】

13:40-14:40 「日本周辺の大陸棚の海底資源ポテンシャル」
東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻
教授 浦辺 徹郎

口頭発表

1. 14:45-15:00 「海洋コアコンプレックスの発達とフィリピン海背弧拡大の新しいモデル」
技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
2. 15:00-15:15 「海上保安庁における新たな海洋調査への取り組み」
海洋調査課 仙石 新
3. 15:15-15:30 「測深データの精度評価と測深データ管理システムの構築」
(水路技術奨励賞受賞講演)
技術・国際課 海洋研究室 及川 光弘
(株) 海洋先端技術研究所 千葉 未子
4. 15:30-15:45 「えい航式海底測量システムの開発」(水路技術奨励賞受賞講演)
東亜建設工業(株) 藤山映・那須野陽平
(有) エムアンドエム 盛雅道
東京海洋大学 海洋工学部 清水悦郎
- 15:45-16:00 (休憩)
5. 16:00-16:15 「二船式エアガン交互発震システムの開発」(水路技術奨励賞受賞講演)
(株) 地球科学総合研究所 斉藤秀雄・成田誠
6. 16:15-16:30 「海底地殻変動観測で捉えた 2005 年宮城県沖の地震 (M7.2) 後の海底の動き」
技術・国際課 海洋研究室 佐藤まりこ
7. 16:30-16:45 「電子海図表示装置の備置義務化を控えた航海用電子海図の最近の動向」
技術・国際課 海洋研究室 小森達雄
- 16:45-17:00 (休憩)

8. 17:00-17:15 「沖合海域における新たな懸濁物トレーサーの検討」
技術・国際課 海洋研究室 山尾理
9. 17:15-17:30 「2003年～2008年の東京湾奥部の底層溶存酸素濃度時間変化」
技術・国際課 海洋研究室 渡邊奈保子
10. 17:30-17:45 「現場型大容量水試料採取濃縮装置の開発」(水路技術奨励賞受賞講演)
イーアイエス・ジャパン(株) 大塚俊昌

閉会 17:45

ポスター展示 13:00-18:00 (コアタイム: 15:45-16:00 および 16:45-17:00)

- P01. 「大東海嶺の地殻構造」
技術・国際課 地震調査官 西澤あずさ
- P02. 「南鳥島周辺の海山の速度構造モデル及びその解釈」
海洋調査課 大陸棚調査室 金田謙太郎
- P03. 「沖縄トラフの地殻構造」
海洋調査課 大陸棚調査室 堀内大嗣
- P04. 「諸外国の大陸棚申請海域」
技術・国際課 海洋研究室 渡邊奈保子
- P05. 「中深海域における水深データの S44 第 5 版測量基準への対応」
技術・国際課 海洋研究室 及川光弘
- P06. 「八代海南部の海底で発見された海丘群の潜水調査報告」
技術・国際課 海洋研究室 伊藤弘志
- P07. 「最近の MB データ処理ソフト」
技術・国際課 海洋研究室 小野寺健英
- P08. 「海底地殻変動観測における速報暦の有効性」
海洋調査課 航法測地室 斎藤宏彰
- P09. 「東シナ海における POP s (残留性有機汚染物質) 汚染～大量海水の現場処理手法による調査結果」
環境調査課 汚染調査室 清水潤子
- P10. 「数値モデルによる沿岸域の高解像度海況予測」
技術・国際課 海洋研究室 工藤宏之
- P11. 「ALOS (陸域観測技術衛星「だいち」) データを用いた流水観測手法の開発及び利用」
技術・国際課 海洋研究室 松本憲二
- P12. 「CeisNet (シーズネット) と ESI マップ」
海洋情報課 沿岸域海洋情報管理室 足立静治

平成21年度 海洋情報部研究成果発表会



- 特別講演 (13:40~14:40) - 日本周辺の大陸棚の海底資源ポテンシャル

うらべ てつろう
浦辺 徹郎

東京大学大学院 理学系研究科
地球惑星科学専攻 教授



2月16日(火) 13:30~18:00

口頭発表

【会場】 海上保安庁海洋情報部
7階大会議室
(東京都中央区築地5-3-1)

【参加費】 無料(申込不要)

【連絡先】 海上保安庁海洋情報部
技術・国際課
TEL 03-3541-3813

- ☆ 海洋コアコンプレックスの発達とフィリピン海背弧拡大の新しいモデル -小原泰彦(海洋研究室)-
- ☆ 海上保安庁における新たな海洋調査への取り組み -仙石新(海洋調査課長)-
- ☆ 測深データの精度評価と測深データ管理システムの構築※ -及川光弘(海洋研究室)他-
- ☆ えい航式海底測量システムの開発※ -藤山映(東亜建設工業株)他-
- ☆ 二船式エアガン交互発震システムの開発※ -斉藤秀雄((株)地球科学総合研究所)他-
- ☆ 海底地殻変動観測で捉えた2005年宮城県沖の地震(M7.2)後の海底の動き -佐藤まりこ(海洋研究室)-
- ☆ 電子海図表示装置の備置義務化を控えた航海用電子海図の最近の動向 -小森達雄(海洋研究室)-
- ☆ 沖合海域における新たな懸濁物トレーサーの検討 -山尾理(海洋研究室)-
- ☆ 2003年~2008年の東京湾奥底層溶存酸素濃度時間変化 -渡邊奈保子(海洋研究室)-
- ☆ 現場型大容量水試料採取濃縮装置の開発※ -大塚俊昌(イーアイエス・ジャパン株)他-



※ 水路技術奨励賞受賞者による講演